

ほけだより 12月

松橋支援学校

保健室

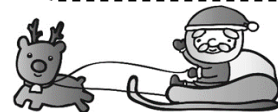
平成29年12月14日

普通科1年1組・専門学科

12月12日（火）、がん教育講演会がありました。

① がんに関する講話 「大切ないのち」

いのちをつなぐ会の高浜さん、松村さんはがんになった経験から話をしてくれました。



まつむら
松村さん

自分はがんで目が見えなくなりましたが、かわいそうな人ではありません。
必要なときにまわりに助けてもらって、がんをのりこえられました。みんなもがん患者に出会ったとき、応援できる人になってほしいです。
私たちは声をかけてもらって元気になります。

自分のいのちも家族のいのちも大事です。みんなのやりたいことができるようにがんにならないように気をつけてほしいです。ただ、がんになっても医療はどんどん進んでいるから、助かる可能性はどんどん高くなっています。必要な治療をして、自分の夢をかなえてください。



たかはま
高浜さん

② 「20歳からのがん検診」

宇城市保健福祉センター橋田さんから20歳からの検診について話がありました。



はしだ
橋田さん

がんは治らない病気ではありません。検診で早めに見つけて早く治療をすれば助かります。住んでいる市町村の検診を受ければ、近くの場所で安い金額で検診できます。検診の手紙がきたら確認をして、自分のためにも家族のためにもがん検診を受けましょう。

③ まとめ ～メッセージビデオ～

自分の大切な人や20年後の自分に向けてみんなが書いたメッセージを生活保体委員・3年生がビデオにまとめました。



メッセージの中身

大切な人へ・・・お父さん、お母さん、食事に気をつけて、病気で入院しないでください。

お酒はほどほどにしてください。たばこはすわないで！！

がん検診、ちゃんとうけてください。体調悪いときには病院に行ってください。

20年後の自分へ・・・夢はかないましたか？たのもしい人になっていますか？

今、とても楽しいです。20年後も笑顔で元気でいられるように！